



ドキュメンタリー制作に夢をかける26歳の女性が、名古屋テレビ主催のビデオコンテストで優秀賞を2回受賞。そのテーマはろう・難聴者。ろう・難聴の子の塾を主催し、映像作家として活躍する今村彩子さんにお話を伺いました。

元気の風を おこす人

ご両親と弟さんと。お父さんも手話を習い、弟さんは「寺小屋そら」の子の勉強も見る。



アメリカ映画に憧れがあった

名古屋市郊外の駅。今村彩子さんと本田栄子さん(手話通訳士)が出迎えてくれ、ご自宅へ。

実は「今村家のお父さんに会えたらいいな」という思いがあった。もちろん、ご家族にも。

先天性の高度難聴だった娘のために、字幕のついた洋画をよく借りてきた父。E.T.が好きで、アメリカ映画に憧れた負けん気の子アヤコ。

「母が厳しく発音の稽古をさせた」という口話(発音して話す)は、彼女がろう者であることを忘れるほど上手。小・中学は普通校へ、高校はろう学校へ。そして愛知教育大学在学中に、

「夢がかなってカリフォルニア州立大学のノースリッジ校に留学して映画制作を学びました」

同校はろう者のサポートシステムが米国でもトップクラス、約250人のろう学生に通訳者は100人。手話、ノートテイク等も充実していた。

「日本の大学だと、講義に通訳をつけると自己負担になります」と本田さん。通訳歴18年、国家資格をもつベテラン手話通訳士である。資格は市や県の認定もあり色々。「人手不足も悩み」と本田さんは言う。その傍らでアヤコが、「移民の多いカナダへ行ったときなど、給食のおばさんでも手話が

ありのまままで輝く

彼女が帰国した翌年、名古屋テレビのビデオコンテストがあった。しめきり日に滑り込みで発送した作品は、見事、優秀賞に輝いた。

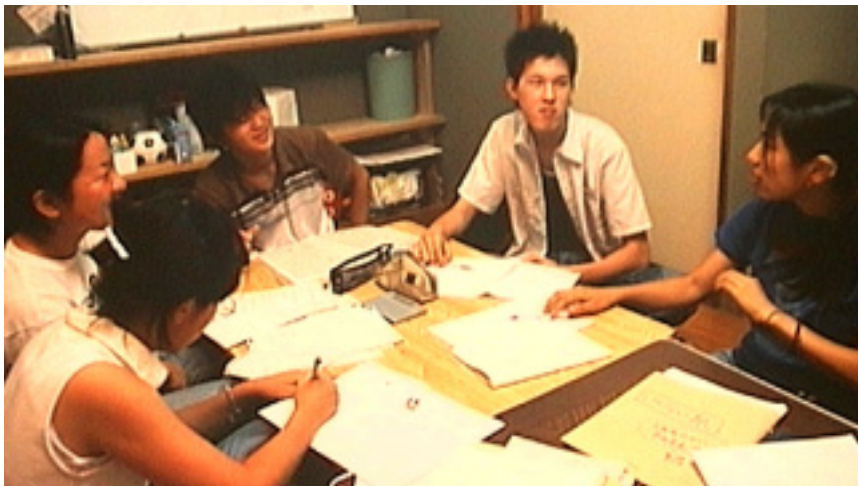
タイトルは「めっちゃはじけてる!豊ろうつ子」愛知県立豊橋ろう学校の素顔」。聴者(聞こえる人)のレポーターと一緒に、出身校に行き、ありのままの生徒達の姿を追いかけた。ドキュメンタリーの取材後、聴者の彼が言った。

「聞こえない子はいかいいそうだと心のどこかで思っていたが、かわいそうなのは偏見を持っていた自分のほうだった」作品は明るさと映像の力が評価されたという。

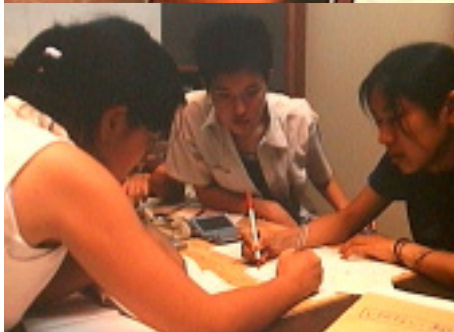
今まで制作した約20本の作品は彼女のホームページ(本紙7ページにご紹介)で内容が分かり、ビデオの貸し出しや販売もしている。

「寺小屋そら」の若者たちと

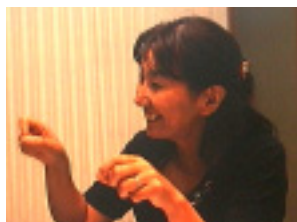
今村さんは「寺小屋そら」で英語を教えている。ろう・難聴の子にとって、日本語のハードルを超えた上に英語もというのは大変。発音をカタカナで表記し、何度も書いて努力でおぼえる。



「寺小屋そら」で学習中。右からアヤコ、ハマー、ゆーと、先生の舞さん、なお。



「手話、指文字、キューサイン、筆談、口話とあり、手話も日米では違うの」と本田さん。これらの違いは www.necsoft.co.jp/syuwa/index.html



カナダにはアメリカ手話の通訳で行った。メルボルのデフリンピックにも同行。

今村彩子さんは、「ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業」の第18期生としてカリフォルニアに留学。この事業を支えてきた「広げよう愛の輪運動」は今年で25年目を迎えました。



公園で撮影する今村さん。キビキビ走り回り生き生きしている。常に「わたしらしい映像」を心がけて。

できるの！同じ部屋に居ると、たとえ私が会話に参加していなくても、皆が手話を使うし」手話はトクベツでなく沢山ある言語の一つで、人はみな対等だった。仲間はずれでなかった感動と「アメリカ映画への憧れから」アヤコは難しいアメリカ手話もクリアしてきたのだ。

「帰ってきた彩子が、家族の会話は全て教えてほしい。伝わっていないこともあったって：」お母さんも本田さんも口と手話とで同時に話す。バイリンガルとは違うし、これってダブルリンガル？

ことが優しくて豊かな感じがした。

だから苦手な子も多いが、最初は「やだー」と言っているも自分から取り組み、仲間が合格すると一緒に喜ぶ。見ていると心がほわんとなる。

来るとまず「おしゃべりの時間」というのがある。こんなにいるさくてホントにろう・難聴だろうか、と思う位カシマシイ。今日は取材だから「ゆー」とは下向いて静かに勉強の姿勢。でもいつもは一番おしゃべりな「お騒がせ」だ。背の高い「ハマー」はおっとりとした風貌だけど、うんうん真面目に食いがたつて勉強してた。さすが浪人生。そして高三の「なお」ちゃん。交換ノートにあった彼女のグチを紹介しよう。

『今日テスト1日目でしたー。それでもって、あっさりと言われました。高三なのにめっちゃいいかげんだなー私(笑)。それでもって英2は：それなりに♥。それでもって現代文、テスト中にお空見ました。それでもって…。最後に世界史のバカヤロー。私は過去はふり返らない』あまりに可愛くて思わず笑ってしまいましたね。

そして、手話通訳士の本田さんを介して話していた感じがすっかり取れてしまい、みんな一緒にワイワイがやがや。帰路、みんなの「アヤコ」が映像制作か後輩たちの教育かの選択で悩んでいると言ったことを思い出した。いいえ、きっと両方ともです。だってあなたは皆の心に元気の風をおこす人。それがどんなに大変でも！